



= SSH 課 外 活 動 =

日田高校のSSHでは学校設定科目の「科学探究基礎（SR）」「探究I」以外でも様々な活動を行っています。

少しさかのぼりますが、8月17日（金）「ひた科学の遊び・実験フェスタ」がパトリア日田にて開催され、いくつかの実験ブースに本校のSSクラスの生徒達が補助に当たり、科学部は実験ブースを設けました。



ひた科学の遊び実験フェスタ

各実験ブースとも、実験内容を幼い子供達にも分かるような言葉に置き換えて説明しており、参加した子供達も大変喜んでいました。

また、科学部の「空気砲で空き缶倒し」と「水を一瞬で凍らせる過冷却現象を利用した実験」のブースでは、子供達の驚く顔や、楽しく実験を行う姿を見て、生徒達も大変満足していました。

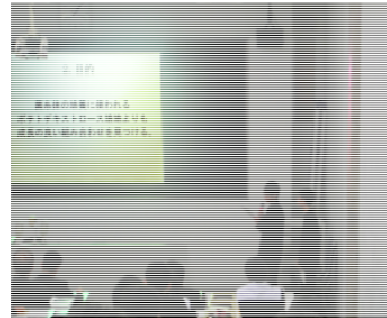
実験フェスタの様子



科学部

また、科学部は大分県高等学校文化連盟「第53回科学クラブ研究発表大会」ポスターセッションの部で「エリンギの菌糸体の成長について」の研究発表が優秀賞を受賞し、「平成24年度九州高等学校生徒理科研究発表大会（長崎大会）」に出場することが決定しました。

以下、科学部の取り組みを少し紹介します。



大分県科学クラブ研究発表大会

県大会までの間、多くの実験を行い、その成果が評価されました。大会後もさらに実験を重ね、これまでの成果を2月10日11日の九州大会で発表してきます。また、そのほかの研究も来年度の大会へ向けてさらに発展させて全国大会を目指して頑張りたいです。 科学部部长 高倉佳行

科学部の皆さん頑張って下さい！！

最後に、本校の1・2年生の科学に関心の高い有志15人が11月11日（日）に平成24年度「科学の甲子園」大分県大会に出場しました。競技内容は筆記試験（120分）と実験競技・総合競技（120分）。A・B2チーム出場しましたが、Bチームが20チーム中8位で敢闘賞を受賞することができました。

Bチーム 主将 日隈翔

【メンバー 穴井・松原・江藤・平田・安部（2年）小野・梶原（1年）】
今回の科学の甲子園では、リーダーとして参加しました。そんな中何とか敢闘賞が頂けたのは仲間のおかげだと思います。

今回の大会では粘り強さを学びました。見たことがない問題でも“解いてやる！”という意気込みで臨み、成果を出すことができました。

この姿勢は、科学の問題解決に必要なと感じました。

今回の体験は自分にとって大きな経験となりました。

裏面に総合問題を掲載しています。